

川崎市救急情報共有システム等導入・運用保守業務委託 質問回答

No	分類	要領等	質問【参照箇所】	回答	回答日
1	参加資格	実施要領P 2	同水準以上の資格の提示でお認めいただけますでしょうか。 【4参加資格(5)国際規格ISO／IEC27001 又は国内規格JISQ27001 を取得していること。】	参加意向申出書受領後に内容等を確認した結果、問題が無いと判断した場合には参加を認めます。	2月6日
2	事案情報の連携	調達仕様書P 1	事案情報は専用回線によるデータ連携と記載がありますが、救急情報共有システムと救急OAはクラウド上で共有するかたちでも良いでしょうか。 【第1章3(1)図1本システム導入後の全体像】	クラウド上で共有する方法でも構いません。	2月6日
3	操作研修	調達仕様書P 2	現在想定されている実施時期・回数等ございますでしょうか。 また想定の研修の方式(集合式など)はございますでしょうか。 【第2章1(4)管理担当者、救急隊及び医療機関それぞれに対して本格運用までに消防署や医療機関など本市が指定する場所で操作研修を行うこと。】	・実施時期：8月～10月頃まで ・管理担当者：消防局 2回程度 集合方式 ・救急隊：8消防署 各2回程度 集合方式 ・医療機関向け：30機関 各2回程度 集合方式 を想定しています。	2月6日
4	再委託	調達仕様書P 5	再委託を行う場合、再委託先企業も川崎市の定める実施要領4(1)～(5)の参加資格をすべて満たす必要がありますか。 【第3章1(12)再委託先の情報セキュリティ対策の実施状況を確認するために次をはじめとした情報を本市に提供可能であること。】	プロポーザルへの参加について、再委託先予定事業者が参加資格をすべて満たす必要はありませんが、再委託を希望する場合は、契約後、再委託承諾申請書を提出いただき、再委託を行う合理的な理由、再委託先事業者の履行体制及び実績等を本市が審査します。	2月6日
5	セキュリティー要件	調達仕様書P 9	クライアント証明書という指定がありますが、(10)では多要素認証方式やデバイス認証による接続端末制限等の対策との指定があります。 (13)においてもクライアント証明書以外の多要素認証も許容されるでしょうか。 【第4章2(13)予めクライアント証明書によるデバイス認証を行った端末のみ、アクセス許可ができること。】	本システムの情報の閲覧方法については、パソコンやタブレット等様々な方法が想定されますが、閲覧する情報のセキュリティーレベルによってはクライアント証明書以外の多要素認証も許容されることが想定されます。 なお、閲覧できる端末の種類とそれぞれのセキュリティーのレベルについては、運用開始までに協議し決定することとさせていただきます。	2月6日
6	タブレット端末	調達仕様書P 10	救急OAシステムをご利用いただく端末は「救急隊タブレット」のみになりますでしょうか。 もし市との業務端末など他の端末から救急OAシステムを利用される場合はおおよその端末台数と、OSやMicrosoft Officeのバージョンをご教示ください。 【第5章救急隊タブレットの調達要件】	救急OAシステムは各救急隊の勤務する消防署所からの利用も想定しており、端末数は103台（各8本署×5、各救急隊配置出張所21×3）を想定しています。 OSはMicrosoft Windows11、OfficeはMicrosoft365となります。	2月6日
7	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	現時点で想定されている一覧に必要な項目をご教示ください。 【II5(1)現在の応需、非応需の状況を、個人情報を除いた一覧に表示できる機能(2)過去の応需、非応需の状況を、個人情報を除いた一覧で出力する機能】	「一覧」の目的は、医療機関において救急車の応需状況を検証することに寄与する資料となることを想定しています。 項目としては搬送依頼の際に医療機関へ送信した情報から抜粋するイメージですが、具体的な項目はシステム試行までに調整させていただきます。 【必要な項目例】傷病者の歳（年代）、性別、主訴、応需依頼時間、応需諾否、応需不能理由	2月6日
8	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	ベッドサイドで使用する帳票にはどのような情報の出力を想定されていますでしょうか。 医師署名が入った傷病者搬送書と同じものでしょうか。 【III2(2)応需傷病者情報の医療機関による帳票の出力・印刷】	搬送先の医療機関の救急外来において、傷病者の診療を進めるにあたり、情報を紙により管理するために出力することを想定しており、救急隊用タブレットに入力した情報が主となります。	2月6日
9	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	取り込んだ後の画像データについて、誰（隊員または管理者）がいつ閲覧をするのか。また、その画像の用途をご教示ください。 【III3傷病者搬送書の画像取り込み】	市外の医療機関など、システムに対応していない医療機関へ搬送した場合は、従来の紙様式に手書きで傷病者搬送書を作成し、医師の署名を得た書類を撮影。撮影した画像データは救急OAにおいて保存文書として保存されることを想定しています。	2月6日
10	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	医療機関へ記入依頼を通知するのは自動/手動どちらか選択できればよろしいでしょうか。 【IV1(3)上記(1)及び(2)について、医療機関に搬送してから一定期間を経過しているにもかかわらず未入力の項目がある場合は、その旨を通知する機能】	お見込みのとおりです。	2月6日
11	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	リアルタイムに医療機関側での男女別の空床数情報登録が難しいことが想定されるため、医療機関側が入力する応需情報の記号のみで問題ないでしょうか。 【V1(2)男女別の空床数 入力・表示機能】	医療機関側において、診療科目や空床数等を訂正入力でき、入力された内容がリアルタイムに反映されることを想定しております。	2月6日

川崎市救急情報共有システム等導入・運用保守業務委託 質問回答

No	分類	要領等	質問【参照箇所】	回答	回答日
12	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	V医療機関情報の入力・表示機能の「1救急受入れ態勢に関する情報（各消防署）」というの は、医療機関側で入力するものでしょうか。 また、医療機関情報を救急隊に向けて表示させるという認識であつていていますでしょうか。 （各消防署）と記載されているのは、消防署ごとに表示するということでしょうか。 【V1救急受入れ態勢に関する情報（各消防署）】	・基本的に消防署など消防局側で入力することを想定しております が、医療機関側でも入力できることが望ましいです。 ・各消防署がそれぞれの管轄内にある医療機関の情報を入力し、入力さ れた全ての医療機関情報を全救急隊に向けて表示させることを想定して います。	2月6日
13	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	想定している運用方法について質問です。 消防局と救急隊との情報共有でしょうか。 消防局と医療機関との情報共有も想定されていますでしょうか。 【VII消防局が指定したアカウントに限り情報を作成】	主に市役所内での他局への情報共有を想定しています。 具体例としては次のとおりです。 ・救急ひつ迫時に、健康福祉局と救急需要の状況を共有 ・指定感染症の感染拡大時に、市内の搬送状況を保健所と共有	2月6日
14	システム機能要件	別紙2 システム機能要件	(1)医療機関情報、(2)各救急隊の活動状況については、救急隊と医療機関で情報を常に共有し ていても問題ないのではないかと考えますが、指定したアカウントに限り共有する理由があ ればご教示ください。 【VII消防局が指定したアカウントに限り情報を作成】	救急隊と医療機関との情報共有とは別に、健康福祉局など指定したアカ ウントに対して、一部の情報を共有するものです。救急隊、救急医療の ひつ迫状況を、各消防署や市の所管局など、関係者向けのアカウントに おいてもリアルタイムで把握できる機能として、共有することを想定して います。このため個人情報などを表示できることは想定しておませ ん。	2月6日
15	救急OA機能要件	別紙3 救急事案管理機能一覧	指令システムからのデータ連携による事案情報取り込みについて、ファイル連携以外の方法が 可能であれば代替させていただいてもよろしいでしょうか。 【消防指令システムからデータ連携により事案情報を取り込む場合は、デジタル庁の「ファイル 連携に関する詳細技術仕様」で定められた連携方式に従うこと】	ファイル連携以外の方法を許容しますが、将来的に指令システムが現在 と別のシステムとなった場合においても、救急情報共有システムがファ イル連携により新指令システムと連携できるように、ファイル連携に対 応していることとします。	2月6日
16	救急OA機能要件	別紙3 救急事案管理機能一覧	記載の情報は救急情報入力端末上で入力できれば、要件を満たす認識で問題ないでしょうか。 【消防本部職員が救急情報入力端末から以下の操作を実施できること。 ・搬送記録を入力 ・搬送記録票への人体手書き入力 ・医師署名入力、搬送記録票への反映 ・救急救命処置録の入力 ・救急活動報告などの処理】	お見込みのとおりです。	2月6日
17	救急OA機能要件	別紙3 救急事案管理機能一覧	「データ検証」とは救急事案のCSV出力機能の認識でよろしいでしょうか。 【データ検証】	救急隊が入力した内容について、明らかに誤った内容をエラーチェック により抽出する機能を想定しています。 (例) ・未入力項目の抽出 ・長時間を要している時間の抽出（時間入力の誤り） ・疾病分類の大分類に対して中分類、小分類の選択誤りの抽出	2月6日
18	救急OA機能要件	別紙3 救急事案管理機能一覧	救急OAシステムから出力が必要な帳票一覧をご提示いただくか、もしくは必要な帳票数をご提 示ください。	消防年報に掲載している9項目及び、医療機関別応需非応需状況の計10 項目程度を想定しています。 1 事故別・隊別等救急取扱状況 2 月別・時間別救急出場件数 3 曜日別・対応別救急出場件数 4 年齢別搬送人員 5 医療機関別搬送状況 6 疾病別・傷病別搬送状況 7 行政区・高速道路別救急活動状況 8 傷病者の居住地別・収容医療機関別・傷病程度別搬送人員 9 心肺停止傷病者の状況 10 医療機関別 応需非応需状況	2月6日
19	救急OA機能要件	別紙3 救急事案管理機能一覧	既設でご利用中の救急OAシステムに保存された救急報告書データについて、データ移行は必要 でしょうか。	データ移行は不要です。	2月6日